

おち町

議会だより OCHI TOWN

No.88

2009年5月1日発行
高知県越知町議会



ピカピカの教科書、ぴっかぴかの一年生

21年度一般会計 6年ぶり増 2

役場の耐震工事 1億6500万円

まちの活性化へ大型補正 20年度補正 6

介護保険 200円アップ 条例改正 8

産業振興計画 **わが町はどう動く** 一般質問 11

黒潮町の **高速通信事業** を学ぶ 委員会レポート 19

21年度一般会計

6年ぶりの増
36億
4535万円
昨年比 +5.9%

役場の耐震工事に1億6500万円

3月定例会は、6日から10日までの会期で開き、役場の耐震工事など平成21年度一般会計予算および地域活性化対策や定額給付金などの平成20年度一般会計補正予算、特別・企業会計予算、条例の一部改正など合わせて31件を全会一致で可決しました。また、幼稚園長の報酬改正案を賛成2・反対9で否決しました。〔9ページ参照〕
一般質問は7人が登壇し、県の産業振興計画に関連した質問や防災対策などの質問を行いました。

地方交付税 昨年より900万円減る

歳入(町に入る金)の主なものは、町税が4億5551万円。地方交付税は、昨年に比べ9098万円減り、19億6846万円。国や県からの支出金は3億2120万円。歳入不足を補うための町債(借金)は5億2992万円。役場の耐震化のため施設等整備基金(町の貯金)から7689万円の繰入金などを計上している。

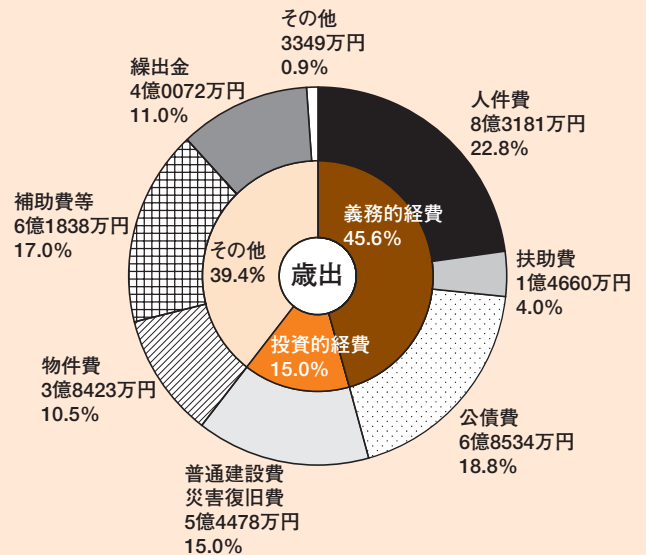
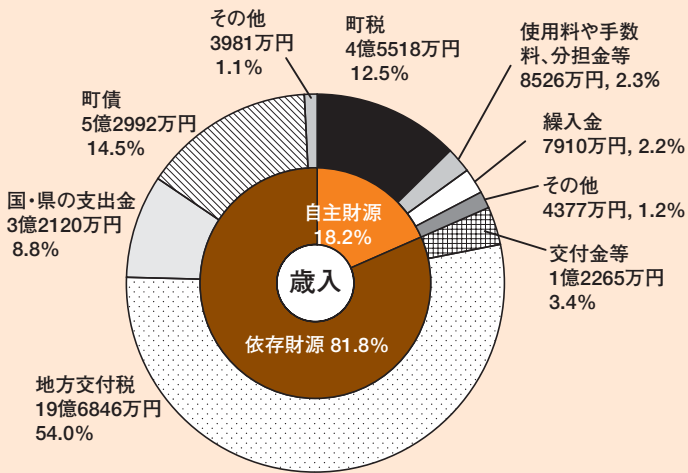
普通建設費 昨年より85.6%増える

歳出(町が使う金)の主なものは、公債費(借金の返済金)や人件費などの義務的経費が16億6375万円。昨年より0.8%減り、役場の耐震工事や町道、農道、林道の開設・改良工事などの普通建設事業費は5億1387万円と昨年に比べ85.6%と大幅に増えている。

勉強に、遊びに
新学期もみんな元気！



平成21年度 一般会計予算 36億4535万円



町税	町民が納める税金
繰入金	町の貯金を下ろして使う金額
交付金等	消費税やガソリン税などの中から地方へ配分される金額
地方交付税	自治体運営の均衡を保つため、国から配分される金額
国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金
町債	財源不足を補うための借金
自主財源	自前で賄うことができる財源
依存財源	国や県の補助金や借金に頼らなければならない財源

人件費	職員や町長、議員への給料や報酬、期末手当など
扶助費	生活に困っている人を支援する費用
公債費	事業を進めるために行った借金の返済金
物件費	自治体を使う消耗品や備品代、委託料などの費用
補助費等	広域事務組合や各種団体などへの負担金や補助金
繰出金	下水道事業や介護保険事業などの特別会計に充てる費用
義務的経費	支出が義務付けられており、簡単に減らせない経費
投資的経費	道路や建物の建設、災害復旧事業などに使われる経費

耐震強化を図る

総務費

役場の耐震 1億6500万円

役場の耐震補強工事、野老山中村集会所建築工事、5区コミュニティ広場整備工事など。財政調整基金等積立金に1782万円、国土調査委託費に6483万円など。

中村集会所の建築

小野国昭議員

野老山中

村の集会所建築工事の用地は解決しているか。また、建物の内容は。

大原総務課長

用地は、町が買い上げないが、地権者に使用の承諾を得ている。建物の内容は、設計前であり、決まっていない。

保育・幼稚園の耐震委託も 学童保育にエアコン

民生費

社会福祉協議会へ1000万円の補助。住宅改造の支援、保育園の耐震設計委託費、学童保育へのエアコン設置など。国保・老人・介護の各特別会計への繰出金および後期高齢者医療費負担金に合わせて3億8871万円。

学童保育にエアコン

斎藤政広議員

学童保育

の天井吊り型エアコンほどの程度のものか。

西森教育長

休校で今

は使っていない明治中学校の2台と黒石小学校の1台を越知小へ移設する。

介護認定者の 住宅改造を支援

武智龍議員

住宅改造

の支援対象者と予定数は。

藤原住民課長

65歳以上

で介護保険の要支援1、2と要介護1から5の人で、主たる生計者の前年度所得税額が40万円未満の人を対象に4軒を計画。

100万円に対して3分の1が申請者の負担額。

平成21年度予算

会計名	予算額	前年度比較
一般会計	36億4535万円	5.9%
特別会計	簡易水道	3830万円 354.2%
	下水道	1億8424万円 △2.0%
	国民健康保険	7億7990万円 △10.7%
	老人保健	419万円 △97.3%
	介護保険	8億9949万円 △0.7%
	後期高齢者医療	9854万円 △7.2%
	土地取得	14万円 △39.3%
	蚕糸資料館	18万円 △19.3%
自然の森博物館	2497万円 △0.7%	
企業会計(水道)	5998万円 △0.3%	
合計	57億3528万円	△0.5%

教育費

小学校フェンス設置および遊具移設撤去工事。中学校会議室・理科室改修および北側フェンス修繕工事。幼稚園耐震診断委託費、総合運動場相撲場撤去工事、中学生韓国訪問の輸送委託料など。

新たな

韓国学校と交流

武智龍議員

国際交流

事業の韓国訪問の内容は。

山中教育次長

中学生20

人と引率6人で計画。

昨年までとは違う交流学校が決まりつつある。

相手方と連絡を取りながら、安くて安全な方法を選択する。



子どもたちの安全が第一(幼稚園入園式)

5区に広場を整備
斎藤政広議員 コミュニティ助成事業の内容は。大原総務課長 5区の町有地にコミュニティ広場を整備し、東屋と花壇を作る。

土木費

山室線など改良進む
道路工事に1億4000万円

町道山室線、仲川内線、熊秋石山線、薬師堂深瀬線などの改良舗装工事。
町営住宅解体工事、住宅設備の購入費。
下水道特別会計への繰出金1億3981万円、県工事の負担金に795万円など。

武智龍議員

住宅設備

は何を買うのか。

大原総務課長

町営住宅

の古くなった風呂釜や給湯器などの買い替えと入居者が変わるときの設備の更新などの費用。

下水道加入率

47・6%

藤原俊夫議員

下水道事業

への繰入金は加入率が上がれば減ると思うが、今の加入率は。

山本環境水道課長

下水道

道事業の収益で賄えない分は一般会計から繰り入れざるを得ない。
加入率は2月末で47・6%と伸びていない。

休止していた林道白石横倉線を再開

農林水産業費

中山間地域等直接支払交付金に4057万円。緊急間伐支援および森林整備地域活動支援費。
林道白石横倉線、栃ノ木大平線開設工事など。

小野国昭議員

林道白石

横倉線の内容は。

小田産業建設課長

休止

していた工事で、関係者の協力で再開する。最短コースで1300坪。幅員は4坪で計画している。

武智龍議員

緊急間伐

はどれくらいの面積か。

小田産業建設課長

県の

補助金で、個人が5万円、組合が1万円、保育間伐が7万円、作業道整備に400万円を計画している。



全線改良が待たれる山室線

消防費

越知へりポート新設工事。自主防災組織の整備補助金550万円。県防災無線システムの更新負担金に1165万円など。

本年度中に完成

寺村晃幸議員

越知へりポートの工事と用地

費の内容は。

大原総務課長

町民プールの西北に整備し、

21年度中に完成予定。

片岡副町長

地権者と話をして承諾が得られたら、購入してへりポートの面積を広げてプールの北側へも入りやすくする。

衛生費

妊婦健診14回無料

妊婦や乳児健診、定期予防接種や患者バスの運行費用など。
ごみ収集運搬委託費や浄化槽の設置補助金、高吾北広域事務組合への負担金など。

商工費

商工会・観光協会への補助金1375万円。
宮ノ前公園や大樽駐車場、小浜・黒瀬キャンプ場などのトイレ維持管理に206万円など。

2億1300万円を補正

定額給付金1億1055万円

2月1日を基準日として18歳以下と65歳以上の人は2万円。そのほかの人は1万2000円が給付される。受け取りの申請期間は4月1日から6カ月間。

代理申請や窓口受け取りもできるが、基本的には世帯主が申請して、世帯主の口座への振り込みとなる。

支援の継続を

山橋正男議員

子育て応援特別手当は今回だけと聞いたが、今後も継続する考えはないか。

町単独では困難

藤原住民課長

18歳以下の2人目以降の子どもに1人当たり3万6000円を支給する。

本年度限りで、継続は、町の一般財源となるため困難だ。

町単独では困難だ。

山橋正男議員

申請しなかった人や断った人の分はどうなる。

藤原住民課長

辞退したものととして国に返還となるが、辞退したい人はいったん受け取って町に寄付してもらえば、町の収入になるのでありがたい。

西川晃議員

基準日以降に死亡した人や世帯主以外の申請はどうなる。

藤原住民課長

2月1日以降に亡くなられた人も給付の対象である。

寝たきりや障害のある人などは代理申請もできる。

2人目からの子どもに3万6千円

生活支援

1万円に2千円お得

商品券発行に400万円補助

町商工会が定額給付金の支給に合わせて発行するプレミアム付き（2割増し特典）商品券に400万円を補助する。

商品券は、5月1日から10月31日まで、町内の取扱加盟店で利用できる。

商品券は4月24日に完売



地震で崩れたら大事じゃけ

役場の耐震工事

21年度に実施する耐震工事のため、3350万円を基金に積み立てる。

日ノ浦ヘリポート

舗装工事に500万円。

防災対策

急傾斜工事負担金

179万円減る

大川信輝議員

急傾斜崩壊対策事業の負担金の減額理由は。

小田産業建設課長

栗ノ

木の県営事業で、斜面の角度が当初より急になったため、10%の町負担が5%に変わった。

まちの活性化へ

道路工事等

- ・林道加枝ケ谷横倉線開設工事
- ・町道中央線坂折橋路面補修工事
- ・町道堂林線新設工事
- ・町道仲川内線局部改良工事
- ・町道栃ノ木線落石防護工事
- ・町道小舟団地線側溝改修工事
- ・ほか各地区町道の舗装補修工事など

1500mのうち511m完了

小田産業建設課長 以前から事業費が少なく延長は伸びていない。今回地域活性化の補助金で30㍍を計画している。全体計画は1500㍍で511㍍が施工済みとなっている。

林道加枝ケ谷横倉線

斎藤政広議員 林道加枝ケ谷横倉線は予定の目的地まで完了するか。

平成20年度補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	2億1333万円	40億0487万円	
特別会計	簡易水道	△90万円	1574万円
	下水道	△98万円	1億8726万円
	国民健康保険	△8072万円	8億1123万円
	介護保険	△468万円	9億1461万円
	後期高齢者医療	168万円	9808万円
	土地取得	0.1万円	23万円

教育関連

中大平公民館の増築

斎藤政広議員 中大平公民館増築の内容は。台所を1・4㍍広げ、トイレの前に倉庫を予定しており、約1・5坪の増築になる。

町民会館 駐車場を舗装

山橋正男議員 町民会館の舗装はどのくらいか。
山中教育次長 教育委員会の事務室の西側から大ホールを過ぎる辺りまでで905平方㍍を計画。



入学おめでとう。よろしくね。

学習センター取り壊し 跡地利用は未定

山橋正男議員 学習センター取り壊し後の計画は。【8㍍に関連記事】

山中教育次長 地震が起されば周りへの危険性があり取り壊す。跡地の利用は具体的に決まっていない。ペタンクやゲートボールの練習場、進入路が確保できれば町営住宅なども考えられる。

- ・幼稚園フェンス設置工事
- ・学習センター取り壊し工事
- ・越知中学校プール塗装工事
- ・越知中学校家庭科調理台設置工事
- ・越知中学校理科実験台設置工事
- ・中大平公民館増築工事
- ・町民会館駐車場舗装工事など

介護保険料 月200円アップ (65歳以上)

介

護基金の積み立て

**基準額
4528円**

1号被保険者（65歳以上）の保険料が月額200円上がり、基準額（第4段階）で4528円となる。

【16ページに関連記事】

ただし、前年度の合計所得額と課税年金収入額の合計が80万円以下の第4段階の人は基準額の85%が軽減される。（4月1日施行）

（賛成・全員）

円滑な運営のため 従事者の処遇改善

介護保険事業を健全かつ円滑に運営するため、基金（貯金）を設ける。積み立てる金額は、毎年度の剰余金を積み立てる。（4月1日施行）

（賛成・全員）

介護報酬の改定による介護従事者の処遇改善や介護保険料の急激な上昇分の負担を軽くするため、国からの交付金を積み立てる。（公布の日から平成24年3月31日までの期限付き施行）

（賛成・全員）

（賛成・全員）

国保税 介護納付金の限度額を増額

国民健康保険納税額における介護納付金の課税限度額を9万円から10万に上げる。（4月1日施行）

（賛成・全員）

個人情報取り扱い

統計法の改正に伴い、国などが行う統計調査で保有する個人情報の取り扱いは、統計法の中で定められているため、町の個人情報保護条例では取り扱わない。（4月1日施行）

（賛成・全員）



外出で気分もはげばれ

学習センターの取り壊し



昔はいっぱい子どもがおったけんどねえ

社協への寄付金 税額控除の対象

住民の福祉の増進のため、町社会福祉協議会への寄付金は税額の控除対象とする。（公布の日から施行）

（賛成・全員）

昭和44～54年度まで中学校の寄宿舎として利用され、昭和55年度から町内児童生徒の宿泊合宿施設として活用。昭和63年度に閉鎖。その後、高齢者学習施設として再開したが、老朽化により危険建物となる。平成14年度に財産処分の手続きを完了し、今回国の交付金事業で取り壊す。

（賛成・全員）

幼稚園長の報酬改正案

賛成2・反対9で否決

幼稚園長の報酬は、20年度までは越知小学校の校長が月額9700円で園長を兼ねていたが、21年度から週3日の専任非常勤とし、報酬月額を15万円に改めることの改正案は、賛成2人・反対9人で否決した。

☆ 討論 ☆

反対 (藤原俊夫議員)

町の財政も厳しい中、幼児教育も大事だが、ほかの方法を再考するべきだ。

賛成 (岡林学議員)

非常勤だが、子どもたちを取り巻く問題に、熱意を持って取り組んでもらえる。

宮ノ前公園の河川敷占用

公園として3.8%しか載っていないため、旧馬場の分の1.3%を加えた5.1%の河川敷地を公園として占有することを県に申請する。(賛成・全員)



公園はみんなの憩いの場

四国部品への貸付料金を下げる

四国部品株式会社に貸している町有地の貸付料金を年額490万円から350万円に引き下げる。

(賛成・全員)



●四国部品株(3月議会時点) 従業員は131人でそのうち越知町民は57人。世界的不況により、主要取引先の販売不振で受注減となり、通常の休日に加え金曜日も休日にし、早期定年退職の勧奨や期間従業員を削減せざるを得ない状況である。

町有地貸します

野菜や花の栽培に (借地料はタダ)

越知字大荒丙(坂折橋の下、横倉側)の町有地507・3平方メートルを、30平方メートルを1区画として、農業者以外の方が野菜や花の栽培を通して自然にふれ合い、農業の理解を深めていただくため、無償で貸し付ける。今回は、3人の町民にそれぞれ1区画を貸す。(賛成・全員)

役場の仕事は5時15分までに

過疎計画の変更 (平成17-21年度)

4月1日から職員の一日の勤務時間を8時から7時45分に改める。役場は午後5時15分までとなる。(賛成・全員)

林道白石横倉線、町道野老山中村線、町道筏津線、町道今成深瀬線、町道越知今成線などの新設・改良・舗装工事。

日ノ浦ヘリポート、野老山中村集会所、幼稚園耐震補強工事など。その他、計画年度や事業費、規模などの一部変更。(賛成・全員)

意見書

3月定例会では、6件の意見書を全会一致で可決し、関係大臣等へ提出しました。

中山間農地を守る 恒久的制度を

提出者 片岡久一郎議員



農家はうまいコメづくりに必死やき

中山間地域等直接支払制度は、耕作放棄地の拡大防止や洪水の防止、水源かん養、国土保全などに大きく役立っている。

また、交付金や集落組織を活用した独自の取り組みが行われるなど、農業生産活動に必要な不可欠な制度であり、恒久的な制度とすることを要望する。

【提出先】総理・農林水産の各大臣・高知県知事

日本農業の 役割を認識せよ

提出者 岡林学議員

WTO議長の提案では、コメの輸入が現在の77万トンから114万トンに増え、更なる低米価が予想され、日本農業は壊滅となる。

稲作を中心とした日本農業の役割を再認識し、WTO議長案を拒否することを求める。

【提出先】総理・農林水産・外務・産業経済の各大臣

最低賃金の引き 上げ

提出者 山橋正男議員

全国バラバラの最低賃金制度を一律にして大幅に引き上げること。

【提出先】衆参両院議長・総理・厚生労働の各大臣・高知労働局長

「命の道」の整備

提出者 斎藤政広議員



道路整備の凍結や遅れは許されない（高知西バイパス）

地域の安全・安心を確保するための「命の道」を計画的に整備するため、未改良率が高い地方に、道路予算を重点的に配分すること。

【提出先】総理・財務・国土交通・総務の各大臣

失業者の生活と 再就職支援を

提出者 岡林幸政議員

労働者の職業を安定させるため、財界、大企業に派遣社員や期間社員の解雇をやめさせ、失業者の生活と再就職への支援を行い、正規雇用のための中小企業への補助金制度を設けること。

政府の責任で、若者や高齢者、シングルマザーなどの雇用の場をつくること。

【提出先】衆参両院議長・総理・厚生労働の各大臣・高知労働局長

労働者を貧困 から救え

提出者 武智龍議員

労働や社会保障分野で、貧困を防止し、貧困から救い出す社会の仕組みをつくるため、社会保障関係費の削減方針を撤回し、労働者の雇用条件を改善し、年金や生活保護などの社会保障制度を充実させること。

【提出先】衆参両院議長・総理・厚生労働の各大臣

情報格差 情報社会に対応した まちづくりを 費用対効果を見て検討／町長



たけち りゅう 議員

問 これからの情報社会に対応したまちづくりが急務だが、自治体および町内の情報格差と課題について、今後の具体的取り組みは。

【19ページに関連記事】

吉岡町長 格差をなくすための整備は大事だ。

費用対効果の面で「即やる」とは言えないが、今後検討したい。

大原総務課長 地方のインターネット環境づくりは、

国が関与して整備したが、県庁から遠い市町村はブロードバンド（高速大容量通信）の未整備地域が多く、都市

部と地方では大きな情報格差がある。

本町も市街地から半径4〜5キロの範囲では高速通信が利用できるが、それ以上離れたら速度の遅い回線しか利用できず、町内にも格差がある。

これらが新たな問題となっており、対策に向けて検討しなければならない。

西森教育長 公民館活動

などにも高速通信が必要となるので、検討しなければならない。

小田産業建設課長 農家

は家に居ながら、取引や価格の設定ができるなど、大変画期的なことだ。

藤原住民課長 障害のあ

る人などには、災害時の支援が必要で、現在明治地区で災害時要援護者台帳を作っ

ている。3年ぐらいで町全体の支援体制を作りたい。

山本環境水道課長 環境

行政において、複数の情報を共有できるITネットワークの活用が期待される。

報告書の内容と成果 再検討を指示／町長



空き地となった越知駅跡地

越知駅跡地

問 旧JR越知駅跡地活用

のコンサルタントに委託した報告書には「まちの駅」とあるが、内容と成果はどうか。

吉岡町長 抽象論的など

ころが多いと感じたので、年間スケジュールと情報拠点としての機能を再度検討するよう指示した。

小田産業建設課長 「道の

駅」よりコンパクトな「まちの駅」という名称で取り組んでいる。

4月から観光協会に1人増員するので、新しい建物ができるまでの間、勉強してもらい力を発揮していただく。

将来には法人化の構想で進んでいる。

農業ヘルパー制度の可能性

問 農作業ヘルパーは産業振興計画を推進する上でも後から支える作業として必要だ。

取り組みは早いほど成果は上がる。シルバー人材センターとの兼ね合いなど実施の可能性は。

参入できるか疑問

吉岡町長 現在、国や県

の補助事業はない。シルバーだけでなく農家は毎年同じ人を雇っている。長い付き合いと信用があり、

新たに制度を作っても入り込めるか疑問だ。もう少し研究したい。

小田産業建設課長 補助

事業ができれば検討するが、町単独では財政事情もあり難しい。

その他の質問

問 幼稚園教諭の研修機会の体制はどうなった。

答 臨時講師の予算計上をしている。幼児期の教育は重要であり研修を積んで指導力の向上を図りたい。

問 21年度の教育はどこに重点を置くか。

答 全教員の研修で指導力の向上や保・幼・小・中の連携強化を図る。



おかばやし まなぶ 議員
岡林 学

アクションプランに どう取り組む

担当職員を2人配置／町長

産業振興計画

問 県の産業振興計画の地域アクションプランは、仁淀川流域に35項目の重点施策がある。
本町は、基幹農産物や薬用作物、木材産業の振興、お茶のブランド化、JR越知駅跡地の活用、仁淀川流

域のジオパーク構想などがあるが、どう取り組むか。

吉岡町長 アクションプラン実行に、課長補佐1人と職員1人を担当にする。

薬用作物は、山椒とミシマサイコノ拡大。

お茶は品質の向上と仕上げ茶の生産量を8%から15%に伸ばす。

林業は、(株)ソニアを核として、県と力を合わせて販売に取り組む。

JR越知駅跡地は、高吾北地区の城にしたいが、報告書の見直しを指示した。

ジオパークは、最終的には世界遺産を考えている。

小田産業建設課長

アク

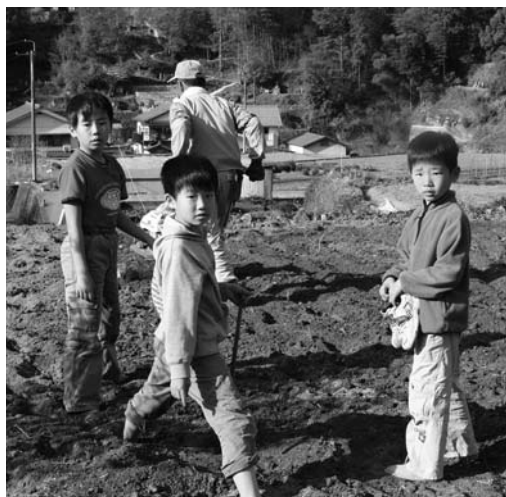
ションプランは、町単独の事業は少なく流域で力を合わせて取り組む。

問伐は県の補助事業を取り入れる。

お茶は20年度からブランド化のポスター作成や関西方面への売り込みを始めており、21年度はそれぞれの町で支援の予算化をしている。

●ジオパーク

科学的に貴重で、美しい地質遺産を複数含む一種の自然公園。
地球科学の普及や観光の対象として地域の活性化を目指す。
【15ページに関連記事】



元気に農作業のお手伝い

自主防災組織

21年度の組織結成は

町中心部に10組織を計画／総務課長

事前に連絡してもらえば消防署の協力要請や講師の手配を行う。

藤原住民課長

災害時の

救護計画では、北島病院、山崎外科病院、前田病院を救護病院としている。

救護所は保健福祉センターで医療スタッフを派遣してもらう計画である。

救護訓練は中央西保健所管内で行っており、大規模な災害も想定し、連携を強めていく。

みんなで防災意識を高める(日ノ浦・清助地区)



問

自主防災には積極的だが、21年度の計画と訓練での行政の関わりは。

また、医療機関との連携が重要だが、話し合いはしているか。

桐見川地区へのヘリポートの計画は。

大原総務課長

20年度は

桑数、鎌井田、8区、五味、日ノ浦・清助、野老山が組織化した。

21年度は、町中心部を重点に10組織を計画している。

年1回以上の訓練や学習会で防災力を高めてもらいたい。

吉岡町長

桐見川地区のヘリポートは、最適な場所があれば早く整備したい。

岡林議員の質問は次のページ上段へ続きます。

防災無線の設備変更は

問 防災無線は設置から26年になり、デジタル無線への設備変更を予定しているが、計画と経費は。

デジタル化すると、聞こえにくい地域が多くなると聞かす対応は。

黒潮町は、光ケーブルを

全世界へ引き、高速通信網での防災告知や行政情報の

双方向通信、携帯電話、地デジの視聴、ブロードバンド・ゼロ地域（高速で大容量の情報通信ができない地域）解消などの情報格差の

解消を進めているが、本町でも検討してはどうか。

【19ページに関連記事】

23―24年にデジタル化

大原総務課長 22年度に

設計、23―24年度に工事を行う予定で、約3億2000万円の経費だが、財源があれば単年度で行いたい。

デジタル無線は双方向通信や文字表示での情報通知ができるが、電波が弱いので中継局の増設や再送信子局の建設費が掛かる。

聞こえない所には戸別受信機を貸す。

本町は、黒潮町に比べ携帯電話や地デジに支障がある地域は少なく、環境が大きく違うのでそぐわない。

過去の災害で、有線が使えなかった教訓があつて無線化しており、ケーブルを使うことには防災面から考えると疑問だ。

過去に災害で、有線が使えなかった教訓があつて無線化しており、ケーブルを使うことには防災面から考えると疑問だ。



戸別受信機で正確な情報

大樽の滝

駐車場対岸の崩壊対策 放置すれば二次災害も

産業建設課長



にしがわ あきら 議員

問 大樽の滝、駐車場対岸が崩れ、土砂が川に堆積して流れをふさいでいる。

台風や集中豪雨で大きな崩落が起これば、駐車場にあるトイレを直撃する。

また、山の上部にある水路への影響も予測されるが、対応は。

小田産業建設課長

このまま放置すれば二次災害も予測されるので、県からは状況を把握した上で対応したいと回答をもらっている。

地権者の了解得られず

吉岡町長 現地は、地権者の了解が得られずそのまま

の状態になっている。県の管理河川であり、県と話し合つて解決策を探したい。

トイレの水洗化を急げ 早期に合併浄化槽にする／町長

総合グラウンド

町民総合運動場のグラウンドのトイレ

は汲み取り式で、利用者から水洗化の強い要望がある。学童野球やサッカーなど多くのスポーツが行われており、子どもや保護者などがトイレの使用に困っている。水洗化できないか。

吉岡町長

本町の公衆トイレは、すべて水洗化を進めてきており、ここは懸案となつていた。水洗化の要望は聞いているので、合併浄化槽で早くするように検討したい。

山中教育次長

総合運動場には一塁側と南側、グラウンド入り口の3カ所あり、費用は3カ所所で1340万円掛かる。

国の新たな制度があると聞くので、予算の許す範囲で順次整備したい。



安心して使える施設に

庁舎の美化

問 役場前の花壇に来庁者の目を楽しませ、心を和ませる花を植えているが、このような取り組みをどう思うか。

感謝している

吉岡町長 素晴らしい取り組みで、感謝とともに今後も美化を図りたい。



おおかわ のぶき 議員
大川 信輝

レストラン跡地の整備 方向付けができるまで凍結 ／町長

農業政策

問 楠神のレストラン跡地に計画していた総合交流拠点施設整備事業が中止になっているが、各地区や関係団体が話し合った計画であり、水気耕栽培の施設も含まれていた。

農家は新しい農業を期待していたが、農業政策の後退ではないか。
計画のためにコンサルタントに支払った委託料が無駄になるのではないかと心配している。

吉岡町長 この事業は、過疎地域自立促進計画で平成17～21年の間に予定していたが、この期間にできなかった訳で、やめるといふことではない。

越知道路の計画もあり、一定の方向付けができるまで凍結している。
引き続き農業分野で整備を考えているので、委託料は無駄ではない。

越知駅跡地の規模と用途

問 旧JR越知駅跡地に計画している「まらの駅」(仮称)の建物の規模と用途は。また、この施設に太陽光発電を設置してはどうか。

町の新しい顔

小田産業建設課長 建物
は2階建てで普通車が7台駐車を検討している。

物を売るだけでなく、コミュニティビジネスとして活用したい。

町情報の収集や提供、体験型観光の受け入れ、産業・福祉の拠点、環境の保全など、町の新しい顔としての情報基地と地域資源を最大限に活用して、将来は法人化を目指す。

3月末には計画がまとまり、4月以降は検討委員会が実行委員会に変わって中身の濃いものになる。

太陽光発電を調査

片岡副町長 太陽光発電は国も力を入れており、費用と効果を調査して実施したい。

子育て支援

保育料や医療費の無料化

早い時期に実施したい／住民課長

問 妊産婦健診14回の無料化の実施は。

子育て支援対策として3人以上子どもがいる家庭の3子以降3歳未満の保育料の無料化はできないか。

また、子どもの医療費が大きな負担になっているが、小学校卒業まで無料化にできないか。

藤原住民課長

妊産婦健診の14回無料化は2月から実施している。

保育料の無料化は、18歳未満の子どもが3人以上いる家庭で、3人目以降3歳未満が対象で、早い時期に実施できると思う。

妊産婦健

子どもの医療費は、現在就学前まで無料であるが、小学校卒業まで拡大すると財源が必要で、すぐには無理である。

安心生活に必要な

吉岡町長 子育て支援は、安心して住める環境を作るために必要と思うので、今後も力を入れていく。

その他の質問

問 地域活性化・生活対策臨時交付金事業の効果は。
答 道路補修や庁舎の耐震工事など、今までできなかったものが整備できる。

問 定額給付金の配付はどのようになるか。

答 4月上旬から受け付けて、基本的には世帯主の口座に振り込む。



手厚い支援でみんな健康

ジオパーク

世界認証を目指す活動

地元の宝を知り意識高揚／町長

問 横倉山は日本最古の化石産地であり、歴史・伝説や植物の宝庫など、さまざまな要素を持つ山である。

仁淀川・四国カルストジオパーク推進協議会ができたが、世界認証を目指し地域の活性化を狙うということだが、どのような活動をするのか。【12頁参照】

また、横倉山の案内板整備や新たな散策道の整備、ガイド要請は考えているか。町職員は、率先して年に一度くらい横倉山に登り勉強する機会を持ってもらいたいと考えはあるか。

吉岡町長

ジオパークは県の産業振興計画にも位置付けられており、本年1月21日に佐川町、日高村、仁淀川町、津野町、梶原町、本町の6町村で協議会を設立した。本町には博物館もあるということが目玉となっている。

21年度は勉強会、研究会、住民へのアピール。22年度はガイド養成、パンフレットの作成。23年度はモニターツアーを予定している。地元の宝を知ることでは住民の意識高揚を図りたい。石切り場への新しい散策道は早急に考えたい。

片岡副町長

職員は横倉山登山は、休日を利用し、できる限り検討したい。



議員 齋藤 政広

一般質問

地域活動

公園づくりで生きがい生活

資材や肥料の提供で応援／町長



花づくりで潤いある暮らし

問 セカンドハウスや公園づくり、花木植栽で生きがいのある老後をおくつていく人たちがいる。

元気で暮らせば医療費の節約にもつながり、町の経費節減にもなる。

道路舗装、コンクリート支給、作業班の派遣などの要望に応える政策を。

また、苗木なども多く配り、花づくりの奨励をしてはどうか。

集落支援員その後の経過と取り組みは。

片岡副町長

町のあちこちでの心が癒やされる取り組みは承知している。

財政は厳しいが、生コンクリート支給や舗装、作業班の派遣、トイレの改修などで応援したい。

吉岡町長

佐之國、小日浦谷ノ内、日ノ浦などの取り組みに、資材・肥料の提供、トイレ設置、ガードレール整備、植栽などの応援をしている。

防災無線

反省点を生かせ

問 防災行政無線は、どの程度故障をしているのか。新しい施設にする場合の財源は。

同じ町に住みながら、放送が聞き取りにくいなどの格差があつてはならない。反省点を生かした取り組みを。

デジタル移行で利点増

大原総務課長

20年度は、老朽化や雷などの外的要因で月に1、2件の故障が起こっている。

部品がないこともあり、業者からは「そろそろ限界」と言われている。

デジタル波への移行は、国庫補助2分の1であとは起債を充てる計画である。デジタル波は、音声だけでなく文字放送伝達などの手段が増える利点がある。

財政状況

地方交付税と普通建設費

交付税は減、建設費は85%増

／総務課長



おかばやし ゆきまさ 岡林 幸政 議員

だが、庁舎の耐震改修工事を含んでおり、これを除くと24・5%の増となる。

北添税務課長 19―20年度にかけては税源移譲があり、町税は増えたが、21年度は少し減る。

問 平成21年度の地方交付税と普通建設費は、昨年度に比べどれくらいか。
また、21年度の税収の見込み額は。

大原総務課長 20年度に

比べ、普通交付税は2・9%減となるが、臨時財政対策債が55・3%増えている。合わせて0・6%の増となる。不確定要素のある特別交付税は20年度の10%減で見込んでいる。
この三つを合わせると620万円の減額で0・3%の減となる。

普通建設費は、20年度当初予算と比べ85%余りの増

存続か廃止か

もう少し様子を見る／町長

(株)ソニア



経営改善が急がれる

問 株式会社ソニアについて、昨年9月の議員協議会で「12月末まで様子を見て、継続か廃止か判断する」と言ったが、その後は。

吉岡町長 12月以降、思ったより落ち込みが止まっているため、もう少し様子を見たい。

現在も厳しい状況は変わらないが、努力して赤字を減らしたいと思っている。
【20ページに関連記事】

●株式会社ソニア

仁淀川町と佐川町、越知町、金融機関、森林組合が出資して設立した第三セクター。
資本金は15億6750万円。

仁淀川流域内の材木の育成管理、林産物の加工販売や林道、作業道等の設計、施工監理などを行い、林業の振興と若者の雇用対策、人材育成を図る。4月15日時点の従業員は36人。

国保税と介護保険料

問 国民健康保険税と介護保険料は、高知県の町村の中で高いか、低いかな。

介護保険料は若干高い

藤原住民課長 介護保険料は、県内の平均より若干高い。
【8ページに関連記事】

国保税は安い

北添税務課長 本町の国民健康保険税は、20年7月1日のデータで、1人当たり7万6090円、1世帯当たり12万7858円となっている。

高知県内の平均は1人当たり8万4206円、1世帯当たり14万1496円で、本町は7番目に安い。しばらくはこのまま推移すると思う。

介護保険料（基準額）の推移

年度	保険料	県内平均
H12―14（第1期）	3425円	3141円
H15―17（第2期）	4328円	3647円
H18―20（第3期）	4328円	4313円
H21―23（第4期）	4528円	4391円

その他の質問

問 町職員退職手当組合への負担金の不足額は、どうなっているか。

答 近年、退職者が少ないため、負担金より退職金が少なく、不足分は少なくなっている。



てらむら 寺村 議員
みつゆき 晃幸

自衛隊と消防団 住民一体の防災訓練

ヘリポートもあり関係者と話す／町長

問 香川県善通寺市に自衛隊第14旅団という部隊がある。この中の第50普通科連隊、約600人が来春、香南市に移駐してくる予定である。

この際、南海地震や大規模災害を想定した消防団・自衛隊・住民一体の防災訓練を計画してはどうか。

吉岡町長

本年1月に陸上自衛隊第14旅団長から緊急着陸の許可申請があり、町内4カ所（桑敷、日ノ浦、野老山、越知）のヘリポートの使用を許可した。

今後、自衛隊とのつながりも深まると思っている。現在、国交省や県が毎年行う合同訓練にも自衛隊が参加している。

せっかくヘリポートができて、県や県警のヘリが使っているのに、町独自で可能か、自衛隊関係者と話し合いたい。

道路管理

定期的な見回りを

維持管理の見直しも必要

／産業建設課長

問 越知道路の1キロ区間が開通して2年になるが、町道に編入された倉良から舟戸間の旧国道は、以前は草刈りなどもやっていたが、最近では側溝や路面に落葉が溜まっている。

定期的な見回りをして管理するべきだ。

町道大平線と大平内野線は、林道の開設工事の大型車両が通行し路面が傷んでいる。補修できないか。

小田産業建設課長

本町の町道は277路線ある。

道路工事は24路線に付けて、路面整備や草刈り、凍結防止剤の散布などを行っているが、全路線に配備することは困難である。

倉良―舟戸間は、大雨の後などにバトロールを行い、作業班や業者で対応する。今後は高齢化に伴い、道



地域が力を合わせて道路を維持管理

路工夫が配備できないことも考えられ、日常的な維持管理も含めた見直しが必要である。

集会所の取り壊し

問 文殊様駐車場奥に廃屋同然の多目的集会所「老若荘」がある。景観上好ましくないが、取り壊しはできないか。

了解得れば壊す

藤原住民課長

老人クラブ連合会の看板もあるが、しばらく使用した形跡はなく、どこが管理しているのかはっきりしない。

調査して関係者に了解を得れば取り壊したい。

その他の質問

問 世界的不況で失業者が急増しているが、本町の生活保護世帯は何世帯か。

答 本年1月末で74世帯、20年79世帯、19年80世帯で横ばい状況である。

ヘリポートに改善点あり

産業建設常任委員会6人(委員長 斎藤政広)は、2月16日に20年度に行った道路改良工事や舗装工事、防災対策、農業支援事業などの状況を視察調査しました。



現在、シートは撤去しています。

舗装が完成した桑敷ヘリポート

地面の保護にはコンクリートやヒメイワダレ草などの植栽が有効と思う。
なお、シートは処分せずに再利用すること。

また、防護柵ができないため、進入車両などの転落防止対策を検討すべきだ。桑敷ヘリポートも舗装が完成したが、周辺の雑草を防ぐためのシートが非常に不安定で、ヘリの離発着で舞い上がる恐れがある。

野老山ヘリポートは舗装が完成したが、入り口が狭く救急車などが容易に入りにくく、拡幅が必要である。

また、防護柵ができないため、進入車両などの転落防止対策を検討すべきだ。桑敷ヘリポートも舗装が完成したが、周辺の雑草を防ぐためのシートが非常に不安定で、ヘリの離発着で舞い上がる恐れがある。

野老山ヘリポート 入り口の拡幅を

立派な道路に

仲川内線

町道仲川内線は大変狭く急峻な道路であったが、見違えるほど立派な道路になっている。

山室線は安価な工法で延長を伸ばして成果を上げている。引き続き全線改良に向け事業推進を期待する。



広がった仲川内線



改良が進む山室線

定期的な調査が必要

定期的に調査が必要

林道栃ノ木大平線は、平成22年度完成に向け工事が進んでいるが、完成している所で崩れそうな法面があり、定期的に様子を見る必要がある。

開通したら、栃ノ木から大平・打置への通行が予想され、町道大平線の狭い所は、待避所が必要である。

他地域へ普及を

他地域へ普及を

桐ノ峠取水堰工事は、取水口に落ち葉や土砂の目詰まりができない特殊スクリーンを採用し、水源地までの管理道も開設されている。高齢化が進む他の地域にも、水源地の確保や維持管理のために、このような施設の普及を望む。

後山生姜倉庫

進入路が狭い

後山の生姜の予冷庫は大変立派な倉庫だが、倉庫までの進入路が狭い。生姜の搬入・搬出や他の農作業にも使いやすい道路に広げることを望む。



倉庫一杯の生姜

《総務教育》

黒潮町に学ぶ

高速通信で情報格差を解消

総務教育常任委員会6人（委員長 武智龍）は、町の防災行政無線のデジタル化に関連して、2月18日に幡多郡黒潮町を訪問し、情報通信基盤整備事業の取り組みを学びました。【11, 13頁に関連記事】

老朽化による故障
本町の防災行政無線放送施設は昭和56年に整備し、アナログ波を使っている。役場を親局として64カ所の屋外子局（拡声機）からの音声放送が基本で、聞こえにくい地域住民や区長、消防団幹部には戸別受信機を貸し出している。整備から25年以上が経ち、老朽化による故障が増えて

本町の現状と課題

老朽化による故障



早くて正確な情報伝達を学ぶ

いるため、アナログからデジタル波への移行を平成23年度から行う計画である。

デジタル波の特徴

デジタル波は、屋外拡声施設からの放送に加え、文字表示や各地区との双方向通信、画像の伝送などが可能になる。ただし、アナログに比べ電波の飛びが弱く、中継局や戸別受信機が今以上に必要となる。

黒潮町の取り組み

ブロードバンド（高速大容量通信）を23年度に実現

黒潮町の情報通信基盤整備事業は、ブロードバンド（高速大容量通信網）の環境を平成23年度実現に向けて進めている。

防災情報や行政情報の周知、テレビの地デジ対策や携帯電話の不感知地域の解消、高速インターネットなどを整備して情報格差の解消を図る。

告知端末機を全世帯に備え、有料でケーブルテレビにつなげば、地デジ・CS・BS放送が見られ、光回線の高速インターネットサービスも活用できる。

自宅で特産品の取り引き

特に、農林漁業の活性化には欠かせないので、市場や直販所の売り上げ状況を自宅や携帯電話で知るこ

とや特産品を自宅で取り引きできる。

さらに、議会中継の視聴や医療機関や保健センターでの健康診断や健康体操を自宅で行う。町内にカメラを設置して防犯や防災対策。

学校間での交流授業や公開授業などの構想も描いている。



担当の松本さん、小橋さんの熱心な取り組みが伝わった

災害対策と日常の利便性

災害時の通信機能の被害も想定し、衛星携帯電話やFM放送によるインターネット通信などで補う手段も考えている。

100年に一度の災害対策も重要だが、日常生活の利便性を高めることも重要とのことであった。

将来に向けて

情報が瞬時に得られる環境

総務省は平成22年度までに、高速大容量通信ができない地域の解消を目指しており、多くの自治体が平成23年7月のテレビアナログ放送停止までにブロードバンド化する計画である。

今後は、インターネットが苦手な人や使えない人が、意識せずいつの間にか使っている環境を整えるとのことであった。

県内でも着手や準備を始めた自治体もあり、本町も防災無線のデジタル化だけではなく、ブロードバンドの検討をすべきである。

地震や台風、火災などの一刻を争う情報収集や伝達に加え、町内外のさまざまな情報が、いつでも、どこでも瞬時に得られる環境を整えることが不可欠である。

全国コンクール入賞議会

- 最優秀賞 福島県広野町議会
 優秀賞 岩手県金ヶ崎町議会
 ” 宮崎県高千穂町議会
 ” 長崎県江迎町議会
 入選 岩手県雫石町議会
 ” 宮城県大郷町議会
 ” 宮城県七ヶ浜町議会
 ” 新潟県聖籠町議会
 ” 秋田県美郷町議会
 ” **高知県越知町議会**
 奨励賞 石川県津幡町議会ほか9町議会

2年連続トツプ10

町村議会広報全国コンクール「入選」

議会だより第84号（平成20年5月1日発行）が、第23回町村議会広報コンクールで、応募総数201町村の中から入選を受賞し、2年連続のトツプ10入りで、平成17年度からの奨励賞を合わせると4年連続入賞です。

最近では、本町の知名度も上がり、広島県や香川県、京都府などから議会広報委員が視察来町されています。



毎回悩みながらの編集

1月27日には、香川県から6町議会34人が来町され、活発な意見交換を行った。



広域議会

定例会（3月3日）

臨時会（3月31日）

**救急車
21人に1人が利用**

救急出動が1358件で、昨年より172件減ったが、高齢者の搬送割合は68・6%と過去5年間で最も多く、管内では21人に1人が利用したことになる。

火災出動は14件で、損害額は269万円で過去最少となった。

**養護老人ホーム
認知症が進む**

養護老人ホーム利用者の平均年齢は82・4歳で、要介護者の増加と認知症が進み、介助なしの生活者が少なくなっている。

老人ホームの待機者は、重複申し込みも含め218人となっている。

**（株）ソニアに
2300万円**

賛成5・反対4で可決

経営状態が悪化している（株）ソニアの経営改善に向けて「ふるさと市町村圏基金」の利子分2300万円を補助する。

【16ページに関連記事】

ゴミの18%が資源化

し尿の処理量は、1月末8091キログラムで、昨年同時期と比べ435キログラム減った。浄化槽汚泥は4849キログラムで211キログラム増えた。

ゴミ総量は、1月末7899トで、昨年と比べ361ト減った。佐川町が53%、越知町が26%、仁淀川町が21%の比率で、総量の約18%が資源化となった。

平成21年度予算

会計名	予算額	前年度比較
一般会計	8億8159万円	△ 8.37%
特別会計	特別養護老人ホーム	12億4083万円 △ 0.75%
	養護老人ホーム	1億2035万円 1.38%
	知的障害者更生施設	1億6295万円 0.15%
	ふるさと市町村圏	3008万円 326.67%
合計	24億3580万円	△ 2.60%

西浦地区の改良を急げ

(平成19年12月議会)

小野国昭 議員 県道伊野仁淀線の桐見川下ノ谷の橋も完成するが、西浦地区の道路の狭い個所の改良を急がないか。

事業化に向け調査中

産業建設課長 19年度は設計と用地調査を行っている。西浦は、急カーブの上下50メートルを計画しており、20年度の予算が確定したら具体的に分かる。

処理状況

用地が未解決

平成20年度に事業化が決まっていたが、用地問題が解決しなかったため中断している。
現地はヘアピンカーブのため早期改良の要望が強く、解決に向けた対策が課題となっている。



改良が待たれる

地区の行事にも影響

限界集落は3月末で32地区となっている。人口6801人のうち、65歳以上の人が39.2%と高齢化が進んでおり、水道の維持管理や神社の祭り、地区の清掃などに困っている地区もある。

区の統合は、地域住民の思いが第一だが、将来は考えなければならない状況である。

処理状況

高齢化で区長のやり手不足

(平成19年3月議会)

斎藤政広 議員 地域の高齢化が進み区長のやり手が少なくなっている。将来は区の統合も視野に入れているのか。

協力し合うことも致し方ない

町長 対策に名案はないが、区長の後継者がいなければいくつかで協力し合うしかない。

総務課長・住民課長 区長の平均年齢は66.7歳。限界集落(65歳以上の人が半数以上の集落)は29地区である。



地区の会合も参加者が減っている

議会です
こんにちわ

おいしいドーナツはいかがですか

加工グループ「横島どんぐり」

「好きでやりゆつき
毎日が楽しい」と恭子さん



加工グループ『横島どんぐり』の大原恭子さんにお話をうかがいました。

活動は8年前からで、5年ほど前から軌道に乗りだしたようです。当初は大勢いた会員も、今は大原さんと山本理恵さん、山本富美子さんの3人このことです。ドーナツやクッキー、フルーツケーキ、抹茶ケーキ、ヨモギまんじゅう、虎巻きまんじゅう、東山(千しよ七)、味噌、こんにやくなどを、できるだけ地元材料を使って安全でおいしい加工品作りに励んでいます。

市や越知産市などへ出荷。また、コスモスまつりなどの各種イベントにも参加しており、味の良さに人気もあり、すぐに売り切れるそうです。



みんなに
おいしいと言われる
ことが生きがいで

理恵さんは味噌作り忙しい



ドーナツが一番の売れ行き



ご主人の泰生さんは
良き理解者



3月定例会の傍聴者は延べ7人でした。

次の定例会は6月です。多くの方の傍聴をお願いします。

編集後記

江戸時代は、驚くほど完全にサイクル社会だったという。今のような贈収贈といった概念がなかったため、有力者の下には贈り物が大量に届けられた。その献上品を買い取り、御用達商人に転売する「献残屋」などという商売もできた。転売された品は、装い新たに献上品として再利用され、武家にとつては、贈答品を換金できるありがたい仕組みが確立されていた。今で言うこのリサイクルショップは江戸城周辺に集中していたというから、いかに盛んに付け届けがされていたかをうかがい知ることができる。

「権力とカネ」今も昔も同じかも。《西川》

編集・発行責任者

議長 片岡 清則

議会広報調査特別委員会

委員長 西川 晃

副委員長 岡林 学

委員 片岡 久一郎

委員 斎藤 政広

委員 武智 龍

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。